

兵庫県廃棄物処理計画改定についての 廃棄物部会(28年3月31日)での意見(要旨)

1 廃棄物全般についての意見

- (1) 市民が受け入れられるような実態を踏まえた計画が必要
- (2) リデュース、リユースの一層の推進が必要
- (3) 小型家電リサイクル促進の明確化を記載する
- (4) 「生活系一般廃棄物」や「家庭系一般廃棄物」等の用語を分かりやすく統一する
- (5) 家庭系一般廃棄物と事業系一般廃棄物を区分して方策を整理
- (6) 指定ごみ袋の「市場価格等」(単純指定袋制)や有料化等の表現の明確化
- (7) 分別するほど市民の費用負担が少なくなる方策の提案
- (8) ごみ処理広域化に際し、収集運搬車両が通勤・通学する市民に与える影響を懸念
- (9) 台所ごみの水切りを促進する方策・啓発が必要
- (10) 食品ロスに焦点をあてる必要がある
- (11) 一般廃棄物と産業廃棄物の区分が不要
- (12) マニフェストに記載すると廃棄物処理施設で処理する必要があるが、資源として資源化施設で処理できるような制度が必要
- (13) 国に対して、先導的な提案を行う

2 災害廃棄物についての意見

- (1) 災害廃棄物処理を別資料にすることは良いアイデア
- (2) 災害廃棄物処理における産業廃棄物処理業者の役割を踏まえた計画が必要
- (3) 家庭系と産業系が混在する災害廃棄物の迅速な処理体制の構築が必要
- (4) 災害廃棄物の最終処分場(フェニックス処分場等)を考慮した計画が必要
- (5) 災害廃棄物処理計画で扱う災害を阪神淡路大震災レベルのみにせず、規模別に想定することが必要
- (6) 災害時(特に夏季)の生活衛生対策を優先して、住民の健康を守る施策が必要